

# 既存IT資産を活用した開発で 現場のスピードに相應る改善を実施

ATMの開発・保守・ソリューションサービスなどを手掛け、ATM監視・運用アウトソーシング事業で日本のトップシェアを誇る日本ATM株式会社では、ATM端末の保守用システムを更新する際、DataSpiderを導入しました。バイナリデータや固定長データをはじめ、さまざまなデータの連携を柔軟に行えるようになり、システム開発工数を大幅に削減できました。

Before

多様なデータ連携が必要な  
自動機保守システムの  
開発工数を減らしたかった



After

バイナリデータや固定長データにも対応し  
工数を大幅に削減した

## データ連携ツールで開発工数を削減したい



ソリューション開発本部  
副本部長  
吉岡隆徳 氏

日本ATM株式会社は、その名前が示す通りATM専門のソリューションプロバイダーです。

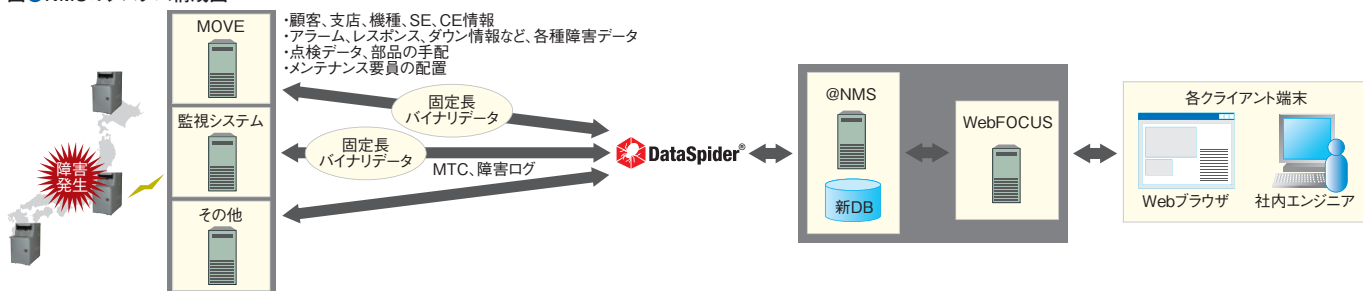
ここ数年のATMは、同社の製品に限らずWeb化が進んでいます。日本ATMのようにソフトウェアを開発するベンダーや、ハードウェアのメーカーとが協調し、業界全体で仕様の標準化が行われた結果、今ではWeb対応のものが主流になってきています。

日本ATMでは、ATMのユーザーインターフェースだけでなく、ATMの保守運用に関

連するシステムでもWeb化を進めています。数万台に及ぶATM端末を含む自動機の保守を支援するために同社が構築・運用している「NMS」(New Maintenance Systemの略)という社内エンジニア用システムについては、2006年後半からWeb化の具体的検討がスタートしました。

「それまでのNMSは、クライアント/サーバ型の構成で、サーバ側はC言語で作ってました。新しいNMS、当社では『@NMS』あるいは『WebNMS』と呼んでいますが、その開発に際しては、開発効率やシステムの品質、メンテナンス性の向上を考えていました。特に、データベースや他システムとの連携などデータ連携の部分を、コーディングせずに行えるようにしたかったのです」と、ソリューション開発本部 副本部長の吉岡隆徳氏は言います。

図●NMSのシステム構成図



### USER PROFILE



- 本社 東京都港区浜松町1-30-5
- 創立 1999年1月
- 代表者 代表取締役社長 中野 裕
- 資本金 4億8000万円
- 売上高 256億円(2007年度)
- 従業員 584名(2007年12月31日現在)
- 事業内容 ATMの開発・販売・保守、運用サポート等
- URL <http://www.atmj.co.jp/>



### PARTNER PROFILE



- 販売・サポート 株式会社アシスト
- 本社 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル
- お問い合わせ 03-5276-5863
- E-Mail [dataspider\\_web@ashisuto.co.jp](mailto:dataspider_web@ashisuto.co.jp)
- 製品URL [http://www.ashisuto.co.jp/prod/dataspider\\_s/index.html](http://www.ashisuto.co.jp/prod/dataspider_s/index.html)

## バイナリや固定長データにも対応できたのはDataSpiderのみ



ソリューション開発本部  
IT統括担当  
社内インフラ担当スペシャリスト  
菊池 貢 氏

ソリューション開発本部 IT統括担当 社内インフラ担当 スペシャリストの菊池貢氏は、次のように説明しています。

NMSは、他の社内システムや保守対象ATMから送られてくる多様なデータを受け取り、データベースに格納して管理しています。このデータ連携部分が、開発工数削減のターゲットとなりました。ただし、ATMに特有の条件を満たさねばなりません。ソリューション開発本部 IT統括担当 社内インフラ担当 スペシャリストの菊池貢氏は、次のように説明しています。

「ATMが出力するデータでは、1980年代のパンチカード時代から使われている形式が今でも使われています。当時はリソースを節約することが重視されたため、固定長データや、ビット単位で情報を持たせたバイナリデータの形式も使われています。例えば6桁のエラーコードを3

バイトで表すなどの工夫をしていたのです。データ連携を行うには、そういったデータ形式に対応できるものが必要でした」

ATMならではの固定長やバイナリ形式データに対応したデータ連携ツールとして、日本ATMは最終的に、株式会社アシストが提案したDataSpiderを選定しました。

「各種のデータ連携ツールはもちろん、外部のソフト会社に開発してもらうことも含めて、いろいろな方法を検討しましたが、バイナリデータに対応できるものは他にはありませんでした。そんな中で、DataSpiderは、事前にトライアルを行ったところ、きちんと対応できました。また、アシストさんからの手厚い技術サポートがあったので、初めて使うDataSpiderに抵抗がなく、安心感がありました。」(菊池氏)

基本的にプログラミング不要でデータ連携を行う、という日本ATMの目的に合致したものは、DataSpider以外になかったということになります。

## コーディング不要だけでなく流用も容易。工数は「従来の10分の1か」



ソリューション開発本部  
IT統括担当  
社内インフラ担当 マネジャー  
松本和徳 氏

なせるようになったとのこと。

「@NMSが接続する別の社内システムに、サービス要員をディスプレイしたり部品の手配を行う『MOVE』というシステムがありますが、このMOVEでGUIでの開発は経験済みでしたから、あまり違和感なく利用できましたね。むしろ、MOVEでの経験があったから、似たような感触で扱えるDataSpiderを

@NMSの開発にDataSpiderを採用することが最終的に決まったのは、2007年4月のことだったそうです。DataSpiderを使った開発には、菊池氏を中心とした3名が携わりました。菊池氏とともに開発に携わった、ソリューション開発本部 IT統括担当 社内インフラ担当 マネジャーの松本和徳氏は「@NMSの開発は、時間的な都合もありましたし、今後の保守体制などの都合もあって、開発の分担が行われました」と説明しています。そこでまず、パイロット的なモジュールを作ってみたところ、すぐに使いこ

選んだとも言えます」と菊池氏は言います。

@NMSは約半年の期間で開発を終え、2007年10月には従来のNMSからの移行が行われました。実際のシステム構築に要した期間は3カ月程度とのこと。このうち、データ連携の部分に関しては、DataSpiderを活用したおかげで工数は大幅削減できました。

「具体的に測ったわけではなく、あくまでも想像ですが、従来のようにコーディングするのと比べたら、DataSpiderは10分の1ほどの工数で開発できているのではないかと思います。例えば、処理の流れを1つ作ってしまえば、他の処理に応用するのも簡単です。すでに作っておいたフローを流用し、別のデータの処理フローを作れるので、非常に生産性が高いですね」と、菊池氏はその効果を高く評価しています。

また、チームワークにも、DataSpiderは効果を発揮しました。

「フローが一目で分かるので、自分が開発したものでなくても、すぐに内容を把握して流用することができます。今後、新しい要員が加わったときにも、この特性は役立つでしょう。他にも、バージョンの自動管理などの機能が、とても助かっています」(菊池氏)

## ATM保守を担当するユーザー自身が開発を行える可能性も出てきた

一目で分かるという特徴は、今後の@NMSのメンテナンスにも大いに役立つと期待されています。

「これまでのシステムだと、開発した人が異動で他部署に移ったときには、昔のシステムのメンテナンスは難しいものになりました。しかし、DataSpiderなら、フローをすぐに分かるので、その心配はなさそうです。新しい要員が入ってきたときでも、既存のシステムを理解でき、手を入れられると思います」(菊池氏)

保守性の向上だけではなく、開発が容易になったことから、エンドユーザー自身によるシステム開発も期待できます。菊池氏によれば、実際に@NMSのユーザーであるATM保守エンジニアにDataSpiderを使ってもらったところ、数時間で理解したそうです。

吉岡氏は、DataSpiderの今後の活用について、次のように語っています。

「システムが複雑になるにつれて難しくなりましたが、本来ならシステムを使う人間が自ら作るのが良いと思っています。そこで、社内インフラでは、システム間のデータ連携が必要とされる場面が多いので、DataSpiderの活用を検討していきます。今後、こういった社内インフラに関してはできるだけ現場でやっている人たち自身で作っていくようにしていきたいですね。そのことは、社員のキャリアパスの自由度を高めることにも繋がるはずですから」

APPRESSO、APPRESSO ロゴ、DataSpider、DataSpider マーク、Servista、Servista ロゴ、アプレッソ、サービスタ、データスパイダーは、株式会社アプレッソの商標または登録商標です。その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。2008年9月の内容に基づいて作成しています。



開発・販売元  
**株式会社アプレッソ**  
〒112-0014  
東京都文京区関口1-20-10  
住友不動産江戸川橋駅前ビル2F  
TEL : 03-4321-1111 (代表)  
FAX : 03-4321-1112  
http://www.appresso.com/  
E-mail : info@appresso.com